

# まきびと カルデアの牧人 ～校長だより～ No.27

## 新たな価値を生み出す力 ～ 2学期終業式 ～

2年前の令和4年4月に現在の3年生が入学して以来、入学者の全員が1人1台のパソコンを学用品として活用しています。今年の1年生の入学により、全校生徒がChromebookを持って学習する環境が整いました。授業での活用方法は、教科や科目によってさまざまですが、この3年間で使う場面がずいぶん増えてきたと思います。

校舎南側のフェンスに横断幕を掲げて紹介していますが、本校は今年4月に「学校情報化優良校」に認定されました。これは、大東高校の先生方の取り組みが評価され、授業や先生方の業務におけるICT活用が進んでいる学校として、「日本教育工学協会」という団体から認定されたものです。

高校の学習で目指しているのは、一人ひとりの状況に合わせた学びを提供すること、そして自分の視点で情報を収集・整理・分析し、それを周囲と共有して議論できる力を養うことです。簡単に言うと、「情報を活用する能力」や「知識や情報を組み合わせる力」を身につけることが求められています。皆さんにとって、Chromebookの活用が有効な学びの手段となり、活用のスキルが高まっているのでしょうか。

さらに、本年度は文部科学省の「DXハイスクール」という事業にも採択されました。この事業により、新しくパソコン教室が整備され、ハイスペックパソコンや3Dプリンター、レーザーカッター、ドローンなどの最新機器を導入しています。来年度4月からは、3年生全員が「データサイエンス」という新しい授業を受けることになります。企業や大学と連携し、外部の専門家の協力も得ながら、これらの機器を活用した「デジタルものづくり」も体験していきます。このような取り組みを通して、皆さんが将来のデジタル社会で活躍する力を身につけることを目指しています。

現在の社会では、「科学技術」や「デジタル」の分野がますます重要になります。そんな社会に貢献できる人材になるために、知識や技術を身に付ける高校での学びも重要ですが、技術が進展しAIが広がる時代だからこそ、「人間の力」を大切に作る視点を持つことも重要です。さまざまな分野の知識を関連付け、「知ること」と「創ること」、何かを「生み出すこと」のサイクルを身に付けることが必要です。

私たちは日々の暮らしの中で、音楽や映像を編集したり楽しんだり、SNSを使って情報を収集します。経済や社会問題を考える際にも、数学を活用したデータに基づくエビデンスが欠かせません。皆さんが学んでいる数学や理科の知識も、地歴公民や国語、英語で学ぶ内容と結びつき、さらに探究学習で培った力を駆使して、新たな価値を生み出す力となります。そんなことを考えながら、学校の学びに広い視野をもって向かってほしいと思います。

